

※2022 年度「現代日本の政治思想 I」の学期末試験は、新型コロナ禍に鑑み、レポート課題を提出するか対面での筆記試験を受験するか、各履修者がどちらかを選択できるかたちで実施した。

◇レポート課題

- ・課題番号①、②、③のうち、どれかひとつ選んで、レポートを作成しなさい。
- ・横書き 1 頁 1200 字 (40 字×30 行) 設定で 1 枚以上、最大 5 枚まで。
- ・参考文献等を用いてもよいが、引用や参照した場合それを必ず明示すること。講義資料に掲載した資料から引用する場合は、資料名を明示し、カギカッコでくくったうえで引用文末に (第 X 回 Y 頁) としてもよい。

【課題番号①】 大日本帝国憲法の起草とその後の解釈 (学説史) について述べなさい。また、憲法論だけでなく、その運用をめぐる吉野作造の政治論にも言及しなさい。

【課題番号②】 20 世紀を迎えた明治 30 年代は、「実業」と「貧富の懸隔」の時代の幕開けだったといえる。そこで、当時の労働組合と社会主義の思想について述べなさい。また、やがてマルクス主義者となる河上肇にも言及しなさい。

【課題番号③】 講義では、様々なタイプの青年 (しかし、それらは男性) —— 書生、壮士、煩悶青年、地方の青年など —— が登場した。そこで、彼らを主役として日本近代史の一面を描きなさい。むろん、話の展開上、女性を登場させてもよい。

◇解説

①②③どれも講義内で扱ったテーマであり、配付した講義資料を用いるだけで難なく作成できる課題である。

①は、まず、憲法起草にあたりその方向性を決定づけたといえる明治 14 年の岩倉具視の憲法意見書、原案となる「甲案」「乙案」を起草した井上毅の天皇統治理念をめぐる「シラス」「ウシハク」論、伊藤博文の枢密院会議における「機軸」発言や彼の「憲法政治」理解、また、内閣総理大臣の位置づけをめぐる井上と伊藤の見解の相違についてまとめること。帝国憲法の解釈 (学説史) としては、天皇主権説と天皇機関説の二つの学説系統について、前者は穂積八束と上杉慎吉、後者は美濃部達吉をとりあげ、主権の所在をめぐる見解や第 55 条解釈 (天皇と国務大臣の関係) の相違について言及すること。また、吉野作造の政治論としては、彼の有名な論文「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」に言及し、デモクラシーの訳語として「政治の目的」を「一般民衆の為め」とする「民本主義」をあてたこと、そして、何が「一般民衆の為め」になるか最もよく判断できるのは民衆自身であることから、選挙権の拡張を主張したことなどに触れること。

②で、まず言及すべきは、高野房太郎らが結成した職工義友会 (のち労働組合期成会) の『職工諸君に寄す』から、彼らが運動を展開した背景について、内地雑居 (内地開放) に対する準備という側面があったこと、また当時の労働者を「だらしない」とみており、労働組合期成会を「労働組合学校」と位置づけていたこと。講義でとりあげた工場法をめぐる議論に言及してもよい。明治 30 年代は社会問題への関心が高まり、安部磯雄・幸徳

秋水・片山潜らが社会民主党を結成し、学者を中心に社会政策学会が設立される時期である。「貧富の懸隔」が問題になるなかで、富者は慈善事業を求められるようになるが、社会主義者はこれを批判していた。そもそも慈善事業を必要としない社会こそ彼らの理想だったからである。河上肇は学生時代に聖書を読むことで「絶対的非利己主義」に立脚し、『貧乏物語』では「人心の改造」を説いて富者の自制による貧困の根治を論じた。その後『貧乏物語』を絶版にし、マルクス主義へ接近していく。講義では河上肇の『第二貧乏物語』を通して、マルクス主義の唯物史観（土台と上部構造）について解説したが、少なくとも彼が「人心の改造」から「社会組織の改造」を論じるに至ったことに触れること。

講義では、数回にわたって明治期の青年の動向についてみてきた。そこで、③では、血気盛んに天下国家を論じ立身出世をめざす青年、藤村操に象徴されるような煩悶青年、さらに山本龍之助『田舎青年』や山崎延吉『農村自治の研究』に登場する地方の青年について、それらを並べて論じてもよいし、どれかひとつに絞って論じてもよい（例えば、煩悶青年が登場した背景について詳しく論じるなど）。なお、講義では大正期の母性保護論争をとりあげたことから、話の展開上、女性を登場させて性別役割分業の成立などに言及してもよい。

レポートの評価（採点）にあたっては、いわゆるコピペなどの不正がないかどうかはもちろんのこと、選択した課題にこたえられているか、そのこたえが的確であるか、用いた参考文献が適切なものであるかを重点的にチェックした。講義で扱った内容をうまくまとめられていれば合格圏内に入るが、レポートは一定期間を設けて執筆してもらうため、高評価をねらうには、講義資料にとどまらず他に文献を参照したりして深く掘り下げる必要がある。

◇試験問題（対面での筆記試験）

- ・解答時間 60 分。
- ・A4 サイズまでの自筆メモ 1 枚のみ持ち込み可（裏表両面の書き込み可）。

【問題 1】 次の文章を読んで、空欄の（ア）～（ソ）に入る語・数字を記しなさい。

大日本帝国憲法は明治 22 年 月 11 日に発布された。起草制定に至るまで紆余曲折あったが、その方向性を決定づけたのが、明治 14 年の、次のような岩倉具視の憲法意見書（ が起草したとされる）であった。イギリスでは行政権が国王に属すといえども、その内実において実権は議会における多数党にあるといえる。これではまるで「国王ハ徒ニヲ擁スルノミ」にほかならず、イギリスでいう「国王ハ国民ヲ統率スト雖自ラ国政ヲ理セズ」（国王は君臨すれども統治せず）とはそのことを意味する。そしてそれは「宛モ我が国中古以来政治ノ実権ハニ帰シタルト異ナルコト無シ」である。イギリスのような議院内閣制を採用することは、かつての幕府政治への逆行と捉えられていたといえる。

さて、明治 15 年には伊藤博文が憲法調査に出発し、翌年に帰国するまでドイツでグナイストやモッセに、オーストリアではシュタインに学んだ。その後、憲法草案は、まずによって原案となる「甲案」「乙案」が起草され、神奈川県にあった伊藤の別荘で検討が行われた。なお、は教育勅語の起草にもかかわった。

明治 36 年、衝撃的な事件がおこる。〔カ〕学校の学生であった藤村操が「〔キ〕終に死を決するに至る」と記して日光の華厳滝に身を投じたのである。ちなみに、彼の妹と結婚したのが、戦後に学習院の院長となる〔ク〕である。

〔キ〕は当時の青年の間に蔓延し、社会問題となった。その原因は様々であったが、三宅雪嶺は「慷慨衰へて〔キ〕興る」のなかで、教育の進歩と社会の進歩の衝突と捉え、就職難を指摘した。多くの青年が立身出世をめざして競争すると、志望が叶わない者も出てくる。田岡嶺雲は「維新革命来、茲に三十年、世はまた人材の壅塞を見んとす」と述べ、歌集『一握の砂』で有名な〔ケ〕も「我々青年を圍繞する空気は、今やもう少しも流動しなくなった」と述べて「時代〔コ〕の現状」を指摘した。

山本龍之助『田舎青年』（明治 29 年）や山崎延吉『農村自治の研究』（明治 41 年）などにみられるように、当時の地方の青年（とくに地主の子弟）たちは、充実した教育を求めて上京したいという〔サ〕熱に浮かされていた。彼らは田舎者であることに劣等感を抱くようになり、言葉づかい（方言）にも敏感になっていく。条約改正による〔シ〕の実施は、言語の〔ス〕化をもたらした。言語学者の上田万年は東京の言葉を標準語として定め、〔セ〕として文法を整理することを主張した。

明治 30 年代に入ると、鉄道網の拡大により、東京の百貨店は通信販売や出張販売で利益をあげた。地方からの注文が多くなっていき、三井呉服店理事であった高橋義雄は「商業上に於ける〔ス〕の趨勢」を指摘した。また、浅草に電気館が開館すると、当時「活動写真」といわれた〔ソ〕が娯楽として人気を博していく。立身出世のために上京した青年は、試験という競争とともに様々な〔サ〕の誘惑に打ち勝たなければならなかったのである。

【問題 2】 次の (A) (B) (C) は、母性保護論争における各論者の主張を簡潔にまとめたものである。それぞれ誰の主張を示しているか、該当する人物名を答えなさい。

(A) : 子どもは将来の国家社会の担い手です。従って出産・育児という母の仕事は社会的、国家的なものですから、当然それは国家によって保護されるべきです。現在、女性の職種は限定的でしかも低賃金ですから、経済的自立と子育ての両立は困難です。

(B) : 女性も経済的に自立すべきです。男性や国家に依頼してはいけません。男女ともに、将来生まれてくる子どもを育てていけるだけの経済力と貯蓄がなければ結婚・出産すべきではありません。すべての女性がその意識を持てば労働制度も改善されるでしょう。制度は個人の多数がつくるものです。

(C) : (A) さんと (B) さんの主張は理解できますが、それぞれ欠点があり、女性が直面している問題の根本的解決にはなりません。私は (B) さんと異なり、経済的な環境を改善してこそ人間の精神的進歩が可能になると考える者です。

【問題3】 次の ① ② ③ ④ から2つ選んで、それについて簡単に説明しなさい。解答用紙には選択した番号を記載すること。

- ① 中江兆民の「恢復的の民権」と「恩賜的の民権」。
- ② 労働組合期成会が結成された背景。
- ③ 吉野作造の民本主義。
- ④ 谷本富が「新教育」「活教育」を提唱した背景。

◇解説

対面での筆記試験を選択する者に対しては、事前いくつか復習しておくべきポイントをアナウンスした（もちろん試験問題そのものではない）。毎回講義で配付した資料と、まとまった段階で配付した「確認プリント」をもとに準備していれば難なく解ける問題である。なお、【問題1】を解く際は漢字の書き間違いに要注意。

【問題1】 (ア) 2 (イ) 井上毅 (ウ) 虚器 (エ) 武門 (オ) 夏島 (カ) 第一高等 (キ) 煩悶
(ク) 安倍能成 (ケ) 石川啄木 (コ) 閉塞 (サ) 都会 (シ) 内地雑居 (内地開放) (ス) 中央集権
(セ) 国語 (ソ) 映画

【問題2】 (A) 平塚らいてう (B) 与謝野晶子 (C) 山川菊栄

【問題3】 ①は中江兆民が『三酔人経綸問答』のなかで論じたものである。イギリスやフランスのように人民が君主と対立し革命を経験したことで獲得した民権が「恢復的の民権」であり、対して、上から恵み与えられる民権が「恩賜的の民権」であるが、後者であってもこれを大切に育てていけば前者と肩を並べることができるという点にも触れること。②については上記レポート【課題番号②】の解説を、③は【課題番号①】の解説を参照。④では、帝国主義、すなわち世界規模での経済的生存競争を勝ち抜いていける人材の育成が求められていたことについて簡潔にまとめること。